



地域医療連携室だより

Vol. 57

平成 26 年 3 月 1 日発行

発行元 大津市民病院地域医療連携室

住所 〒520-0804

滋賀県大津市本宮二丁目 9 番 9 号

TEL 077-526-8192

URL <http://www.municipal-hospital.otsu.shiga.jp/>

医師会の先生方には地域医療研修など大変お世話になりありがとうございます。おかげさまで、もうすぐ無事1年間または2年間の研修を終えます。そこで研修医にそれぞれ学んだことや気づいたことをのべてもらいました。

2年目研修医

喜多 昭 介

大津市民病院で医師としての最初の一步を踏み出してからはや2年が経とうとしています。勉強すればするほどわからないが出てくる医学の世界に圧倒されっぱなしの毎日ですが、豊富な知識と経験をもっておられる指導医の先生からはもちろん、看護師さんや検査技師さんなど、とても多くの方々からいろんなことを教えていただきながら、初期研修ももうすぐ終わりにさしかかっています。2年間で過ごしてみて、一人前の医者になるにはもっと時間をかけてもっと勉強しなければならないと改めて痛感していますが、これからも多くのことを学び、1日も早く皆さま、そしてなにより患者さまのお役に立てるよう頑張っていきたいと思っていますので、何卒よろしく願いいたします。

城田 あゆみ

研修医2年目 城田と申します。私は2年間大津市民病院で研修しました。2年目の終盤を迎えた今、この病院で医師1年目として働き始めた頃を思い返すと、本当にたくさんの学びがあったと実感します。約2年前の今頃、患者さんと話すのも、点滴をとるのも、処方を出すのも、緊張の連続でした。今では知識も技術もまだまだながら、まがりなりにも、特に救急外来においては自分で治療方針を決めることができるようになりました。また、急性期病院で働く中で、退院後の患者さんの日常を支えてくださる開業医さんやリハビリ病院と連携することの大切さも実感しました。上の先生や周りの方々のご指導を受けながら、また互いに切磋琢磨しながら歩んできたこの2年間は、自分の医師人生にとって宝物になると思います。来年度からは、循環器内科医として歩き出します。大津市民病院での学びを活かして頑張っていきます。皆さまにお世話になる機会も多いと思いますので、今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

滝本 とも子

臨床研修の必修プログラムの1つに、1ヶ月間の地域医療研修が含まれています。大津市民病院の研修医は大津の開業医の先生や、療養型病院で学ばせていただけることとなっており、私も去年の夏にお世話になりました。大津市民病院を退院した後に、患者さんがどのように療養型病院でリハビリを行って自宅へ帰り、開業医の先生にかかっているのかということを実際に見せていただき、改めて各病院の役割を知り、また、その役割を果たすということの重要さを認識でき、とても貴重な体験となりました。来年度以後もこの経験を生かして精進したいと思います。

樋上 健 介

研修医の樋上と申します。大津市民病院での研修も2年目終盤にさしかかり、改めてこう過去を振り返る機会を得ると、はじめに想像できなかった視点で患者を見るようになったことに驚いております。

それは学生時分より想定していた、「〇〇を主訴にした××歳の～」という症例より医学的問題を切り出し、鑑別を挙げ検査でアプローチをするといった至極まっとうな医療者の仕事というよりむしろ、たとえばこの人がこの時間に慌てて駆け込んだ背景や、何故沈黙を破り今訴えるのかといったことをも考えられる広い視野で患者を診ることができるようになった気がします。それは上級医がわずか一瞥でトリアージをするときに働いている感覚なのかもしれません。

2年間で積み上げた経験が、不勉強な身ではありますがこういった形で結実するとは思っていませんでした。滋賀の空気を吸い、存分に勉強させていただきました。誠にとお世話になり、ありがとうございました。

岡田 寛史

大津市民病院での初期臨床研修で、医師としての第一歩を踏み出すことができました。毎日が発見と勉強の繰り返しで、気付いたらもう1年が経とうとしています。基本的な診察や手技(ルート、採血、エコーなど)から専門的な思考過程まで、多くの指導医の先生方にご指導いただくことができ、非常に充実したものとなりました。また、今年の1月より電子カルテ導入という大イベントがあり、めったにない経験をさせていただきました。

先生方、スタッフの方々、患者さまより様々なことを教わり、反省することも多かったですが、これらを踏まえ2年目以降も頑張っていきたいと思います。

小田 裕太

大津市民病院での研修も1年が過ぎようとしています。右往左往しながら日々を過ごしているうちに1年が過ぎる、という印象です。わからないことも多く、職員の皆さまに助けをいただきながら日々を過ごしております。患者さまと直接ふれあうことで医療のみならず、人間的にも学ぶことが多く、日々成長させていただいています。まだまだ未熟でありますので、毎日日々精進の意識を持って、よい医療者、よい人間になれるように頑張ろう、と思っています。

佐野 新

研修医1年目 佐野と申します。社会人1年目を当院で研修医として働き始め、もうすぐ1年が過ぎようとしています。25年間過ごした京都を出て昨年4月に大津で1人暮らしを始め、当院で働き始めた頃は新しい生活に慣れずに苦労することもありました。しかし、大津市民病院の医師、看護師やコメディカルの方々の優しく、時に厳しい指導のもと、日々少しずつ医師としての自覚も芽生え、成長できているかとも思います。

当院は大津市の中核病院として大津市の皆さまの協力のもと成り立っている病院であり、市民の方々のおかげで私達は日々の研修をすることができています。市民の方々は大変優しく、力不足の私が手技などで手間取ってしまう時にも優しく接して下さいます。

私は来年度も当院で研修させていただきますので、日々さらに研鑽を積み、少しでも大津市の医療に貢献できるよう努力してまいりますので、これからも宜しくお願いいたします。

西元 結菜

大津市民病院で医師として働きはじめてはや1年がたちました。この1年間は本当にあっという間で、また、学ぶことの多い実りのある1年でした。優秀な指導医の先生方や先輩方、また、研修に快くご協力くださり、いろいろお話をさせていただいたり、診察にご協力いただいた患者さまが、よりよい研修ができるようご尽力くださった事務の方々など、たくさんの方の助けがあり1年間すばらしい研修ができたことを心から感謝いたしております。皆さまのご協力に感謝して、1日も早く患者さまの助けとなれるよう今後も頑張っていきたいと思います。

馬場 遼

研修医1年目の馬場遼です。

豊かな緑と湖に囲まれた素晴らしいここ大津で医師になって早くも1年が経とうとしています。私自身、ずっと実家暮らしをしてきましたため初めての1人暮らしでもあり、新鮮さや不慣れが入り混じったなかでのあっという間の1年間でした。また、さまざまな診療科をローテーションさせていただき、自分自身の力不足からご迷惑をおかけしたことも多く、自分の不甲斐無さを実感した1年間でもありました。しかし、そんな中でも先輩医師の方々やコメディカルの方々の助けがあって失敗を勉強に変えることができたのは私の医師人生において貴重な財産となり大変感謝しております。そうしたことから、研修が進んでいくうちに医療従事者にとって最も大切なものはやはりチームワークとそれを支える「報、連、相」ではないかと強く実感させていただきました。今後もこの1年間を忘れずに1日1日を大切に研修に励んで参りたいと思います。

研修医1年目、吉川達郎と申します。医師という責任ある職に従事しそろそろ1年が過ぎようとしています。20年間ここ大津で生活し、その後大津と約600km離れた栃木県の自治医科大学にて医学を学び、滋賀県の医療を支えるために大津市に帰ってきました。長い期間離れている間に町並みが増えたり、自分の立場が変わったこともあり少し戸惑うこともありましたが。

時に厳しく時に優しく指導して下さる医師・看護師やスタッフの方々に支えられ、社会人として新しい生活に慣れてきたところです。ここ大津で生まれ、ずっとお世話になってきた地域に恩返しができる機会をくださった方々にはとても感謝しております。

自分は来年度も当院にて研修させていただきますので、日々精進し大津市の医療、ひいては滋賀県の医療を担う一員として勤しむ所存です。至らない私ですが宜しくお願いいたします。

鳥山 愛生

大津市民病院は病院全体がとても温かく、患者様も含め親切な方ばかりなのでとても安心して研修に臨むことができました。指導医の先生方は非常に熱心に声をかけてくださりました。でも押し付ける感じでは全くなく、将来どの科へ進んでも最低限必要なことでその科で学ぶべき内容をしっかりと教え、それ以外にちょっと余裕があればさらに進んで興味のあること、やりたいことを自主性に任せて学ばせてくださる、そんな印象を受けました。最初の方に回らせていただいた科は慣れるのに精いっぱいでもまだ何もできない状態だったので、指導医の先生と行動を共にして安心して学び、時間が過ぎるとともに少しずつ自分で考えながら行動することを学び、本当に無理なく成長させていただいた気がしています。2年目は京都府立医科大学附属病院での研修となりますが、この1年間で身につけられた知識・技術をうまく活かし、さらに磨きをかけられるように努力していきたいと思っています。

最後になりましたが、関わりを持ってくださったすべての方々に御礼申し上げます。

町田 和隆

私が大津市民病院で研修医生活を始めて早くも1年が経とうとしています。消化器内科に始まり多くの科で研修をさせていただき、皆さまに助けていただきながら何とか過ごした1年間だったと感じています。上級医の先生方をはじめ、看護師さん、技師さんなど、皆さまとても親切で色々なことを教えていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。まだまだ未熟者ではありますが、この病院で学んだことを活かして今後の医師生活を過ごしていきたいと思っています。

大津市民病院で医師としてのスタートを切ることができて本当に良かったと思っています。本当にありがとうございました。

木村 英憲

1年目研修医の木村です。京都府立医科大学研修プログラムのたすきがけ¹にて、1年間大津市民病院にて麻酔科、内科全般、消化器外科、産婦人科、精神科、救急と幅広く研修をさせていただきました。最初は右も左もわからない状態で不安と緊張の日々でしたが、上級医、コメディカルを含め、病院スタッフの方が温かく、迷惑をかけながらも知識や手技など、多くのことを学ばせていただき、多少ながら自身の成長を実感することができました。同期の研修医にも恵まれ、この1年間は本当に充実していました。4月から大学に戻っての研修が始まりますが、常に学ぶ姿勢を忘れず、また、ここで経験したことを活かしていければいいなと思っています。1年間ありがとうございました。

井戸 晴香

京都大学のたすきがけ1年目研修医の井戸晴香です。

4月から大津市民病院で医師として働き始めて、始めは薬の名前などほぼ何もわからない状態で不安でいっぱいでした。しかし、指導いただく先生方は非常に熱心に教えてくださいました。またコメディカルのスタッフの方々も優しく非常に働きやすい環境で多くのことを学ぶことが出来ました。まだ1年目が終わったばかりでわからないことだらけですが、大津市民病院で学んだことを基礎として今後の医師人生を歩んでいきたいと思っています。

¹たすきがけ: 当院採用の研修医は原則として2年間当院で研修しますが、大学病院(当院では京大、府立医大)採用の研修医が1年目か2年目の研修を当院で行うこと。

研修医1年目、光田順一と申します。

昨年四月から研修医としての生活が始まり、はや11ヶ月が過ぎようとしています。はじめは右も左もわからずに右往左往していた日々でしたが、上級医の先生や看護師やメディカルの方々に支えていただき徐々に慣れていくことができました。また、医師としての最初の一年間を大津市民病院という恵まれた環境で過ごせたことをとても幸せに思います。

来年からは京都府立医科大学附属病院での研修となりますが、大津市民病院で学んだことを活かしてより一層の努力をしていきたいと思っております。

土田 優

大津市民病院で研修して1年が経ち、様々なことを経験させていただきました。

毎日1日が短く、昼ご飯を食べる暇もないときもありましたが病院歯科でしかできないことを多く経験できました。例えば、糖尿病などの有病者の歯科管理や全身麻酔下での抜歯、癌の手術、他科の全身麻酔前の周術期口腔ケアなど、なかなか一般歯科医院や歯科大学病院で経験できないことを1年間経験したことは私にとって大きな財産となりました。

この1年間はあっという間でしたが、初めて患者様を担当したときの緊張感は今でも鮮明に覚えています。今後この緊張を忘れることなく患者さんに笑顔になっていただけるような歯科医師となれるように日々精進します。

「滋賀県神経難病従事者研修会」を開催しました。

2月6日(木)に大津市民病院9階会議室において開催されました。大津市民病院 脳神経外科診療部長 高山柄哲「脳神経外科に関わりのある神経難病について」、消化器内科診療部長 若林直樹「消化器難病について」を講演していただきました。

本年度の滋賀県難病医療連携協議会の研修会は終了いたしました。来年度も皆さまの関心にそった研修会を開催していきたいと思っております。



「第15回 総合内科症例検討会」を開催します。

来る3月6日(木)に第14回総合内科症例検討会を行います。公開講座としておりますので、院外からも多数のご参加をお待ちしております。

日時:平成26年3月6日(木) 17時30分～

場所:大津市民病院本館9F 大会議室A・B

テーマ:「口渇、多飲を主訴に受診した若年男性の1例」

症例提示:富田一聖医師(内科)

「NST 勉強会」のご案内

3月27日(木)17時30分～19時00分

大津市民病院9階会議室A・B

「短調症候群(SBS)患者の栄養管理」

外科:加納 正人

※筆記用具・電卓をご持参ください。

